

免疫調整剤の注射が不要になり、
からだの疲労感も足のむくみも消えました

58歳・女性

5年ほど前から、肩や膝が急に痛くなつては、2、3日たつと自然に消えていくということが何度となく続いていました。また、風邪をひいているわけでもないのに、首やのどが痛いということもたびたびありました。そんな症状が始めてから半年ほどたった頃、両膝が同時に痛み出したのです。

当時、スーパーのレジの仕事をしていたので、長時間立っているためかな？ 指を使い過ぎているからかしら？ 商品を見たり、レジスターの数字を見たり、首をたえず動かしているからかしら？ これも職業病ね、なんて自分にいい聞かせていたのですが、そのうちに朝、起きると、全身がこわばっているような感じに襲われるようになったのです。

これはおかしいと病院へ行くと、なんとリウマチとの診断です。リウマチなんて

考えてもいなかったのですが、びっくりしてしまいました。

炎症を抑える薬を飲み始めましたが、朝のこわばりはひどくなる一方です。30分以上フトンの中でからだを動かさないと起き上がれない状態です。膝や手首の関節の痛みも激しくなる一方で、病院のリウマチ科で、金製剤の免疫調整剤の治療を受けることになりました。

金チオリンゴ酸ナトリウムの筋肉注射を2週間に1回ほど受けて、3カ月ほどたつと痛みやこわばりなどの自覚症状も消えてきて、病院で処方された内服薬を飲むのも忘れるほどでした。これで、もう治ったと考えてしまったのです。

ところが、3年ほど過ぎたとき、急に症状がぶり返しました。両膝が腫れて、痛みがひどく、車の乗り降りや、階段の上り下りがつらくなりません。再び、病院の内服薬を飲み始めました。

キャッツクロウを知ったのは、スーパーの仕事仲間に、すぐよく効く健康食品があると教えてもらったのが最初でした。その人は、1年ほど前にリウマチの症状

が出たときに、病院の薬と並行してキャットクローを摂ったところ、2カ月ほどで症状がきれいに消えて、その後、まったく痛みが出ていないとのことでした。そこで、私も病院の薬と併せて、キャットクローを試してみることになりました。

じつは金製剤の免疫調整剤の筋肉注射はとても痛いので、これ以上悪化させて、再び注射療法を受けたくないというのが本音でした。

キャットクローを飲み始めて最初の1カ月ほどは、とくに体調の変化は感じられなかったのですが、2カ月目に入った頃から、朝のこわばりが消えてきました。それまでは夕方になると足がむくみ、膝が痛くて、仕事から帰宅してもすぐに夕食のしたくができないほどでしたが、いつのまにか足もむくまなくなってきたのです。家に帰るなりエプロンをして、台所に立つこともできるようになりました。

病院の薬も飲んでいますが、注射療法なしで以前と同じ安定状態まで戻ることができたのは、やはりキャットクローの効果に違いないと思っています。

痛みが消え、1年ぶりで一人で買物にも行けるようになり、
夢のようです

67歳・女性

リウマチと診断されてから15年。長年、病院の薬を服用してきたせいか、ここ2、3年前からすっかり内臓が弱ってしまい、入退院をくり返してきました。そればかりか、膝の水を抜くための処置をしたり、両足の足首にグリグリとしたリウマチ結節のコブができたり、さんざん思いをしています。

足の指から足首、膝、股関節、そして手首から肘、肩、首まで、からだじゅうの関節が痛み、どうにもがまんができません。痛み止めの注射を打ちすぎると骨がもろくなるということで、注射の回数も制限されてしまいました。

でも、どうにも痛みに耐えられなくなると、医者に泣いて頼んで、痛み止めの注射をしてももう自分が情けなくなてしかたありません。

もう67歳ですし、からだを動かすににくい不自由さは我慢するとしても、痛みだけ

はどうにも耐えられません。食欲もまったくなく、ただ、ひたすらじつと痛みを耐えているだけという毎日でした。生まれたばかりの孫を抱くこともできず、家族のやっかいになるばかりです。

そんなとき、いつも病院で会っているリウマチ仲間の一人が、痛みがラクになる健康食品があるので申し込もうと思うけれど、一緒に試してみないかと誘われました。病院の痛み止めに頼っているのも嫌気がさしていたので、お付き合いのつもりで私も飲んでみることにしました。それが『ゴールドンキャットクロー』だったのです。

キャットクローに関して何も知識がないままに飲み始めましたが、1カ月が過ぎた頃からだだが急に軽くなるような気がしてきました。一緒に摂り始めた友人も同じような感じだといいます。二人で「これはいいかもしれないね。とにかく3カ月は続けてみよう」と話しながら、朝、昼、夜と6粒ずつ摂り続けたところ、2カ月目に入ると、本当に体調がよくなってきたのです。朝、起きたときの全身のこわ

ばりが一日一日とラクになり、動き出すまでにかかる時間が短くなってきました。

からだのあちこちの関節の痛みも日に日に遠のいていくのがわかります。毎日のようにできることが増えてきたのです。たとえば、それまで手首が痛くて開けられなかった戸棚が開けられるようになったり、両手を食卓につかなくて椅子から立ち上がれなかったのに、片手をついただけで立ち上がれたりというように、目に見えて変化が出てきたのです。

毎日、毎日、痛みの具合が軽くなっていくのを実感するのは本当にうれしかったですね。3カ月が過ぎたとき、近所へ買い物にも行けるようになりました。考えてみると、一人で買い物へ出たのは1年ぶりでした。いくら病院の薬を飲んでも、痛みは強くなるばかりで、行動がどんどん制限されていたのに、キャットクローを飲み始めて3カ月でこんなによくなるなんて考えてもいませんでした。

もつと驚いたことに、4カ月目には足首のコブも消えてしまいました。本当にこんなに効果があるなんて、夢のようです。

キャッツクロウの天然成分は、
病院の薬以上に私のからだに合っていました

73歳・女性

40代の終わりに急に肩が痛くなり、首も回らないほどになってしまいました。いわゆる五十肩だろうと思いつながら近所の外科医院へ行くと、よく効く薬があるからと、注射をしてくれました。この注射は本当によく効きました。注射が終わるやいなや肩や首の痛みが消えていくのです。当時、私は小学校の教師をしていたので、肩や首が痛い子どもたちの相手をするのにとっても困ったので、痛みが出ると、その医師のところへ行って注射を打ってもらったり、飲み薬をもらったりしていました。

1年ほどたったころでしょうか。突然、狭心症の発作を起こして倒れてしまいました。入院した病院での検査の結果、動脈硬化や高血圧が進んでいて、リウマチ因子の数値も高いとのこと。ステロイド薬によるリウマチ治療を受けてきませんでした。

たか、とたずねられました。

恥ずかしいことに、私はそのとき初めて自分がリウマチであり、それまで受けていた痛み止めの注射や飲み薬がステロイド剤だったことを知ったのです。狭心症はステロイド剤の副作用だったのです。しかも、ステロイド剤はリウマチの進行を止める治療薬ではないために、私のリウマチは、その間にもかなり進行していたのです。

でも、そんな説明をいっさいしないで、まるで名医のように「この薬はよく効くよ」と注射をしていた医師に対して、不信任を感じるばかりです。二度とその病院へは行くものかと決心しました。

それ以来、副作用のある薬に頼るのはやめて、からだに負担のかからない健康食品を取り入れていこうと思い、いろいろな商品のパンフレットを取り寄せたり、雑誌の広告や記事を読んで研究しました。

ずいぶんいろいろな健康食品を試してきました。ビタミン剤もたくさん飲みまし

た。毎日の食事でも自然食品、有機栽培の野菜を食べるなど、いろいろな気を配ったせいか、リウマチの状態もそれほど悪化せず、季節の変わり目などに痛みが多少ひどくなるものの日常生活にそう困ることもなく10年ほど過ごしてきたのです。

ところが、93年の秋、疲労から体調を壊してしまい、それと同時に全身の関節がひどく痛みだしたのです。とくに手の指の痛みがひどく、みるみるまに関節が変形してきました。その後も、リウマチにいいといわれる健康食品を次々と試してきましたが、多少痛みがラクになることはあっても、完治からはほど遠い状態が続き、痛みをだましました毎日を経過ごしてきたという感じです。

そして97年6月のこと、友人から、リウマチにとても効果のある『ゴールデンキヤットクロウ』という健康食品があることを教えられました。早速、取り寄せてみて、1日4回、5錠ずつ飲み始めました。

まず最初に感じたことは、それまで痛みのために力が入らずフラフラしていた腰がシャンとしてきたことです。なんだか、足も軽くなってきました。1週間ほどし

たとき、近所の魚屋へ買い物に行くと、魚屋の奥さんから、

「あら、今日はとても元気そうですね。どうしたのですか？」

と声をかけられたのです。買い物に来ていた近所の人たちも、口々に私の顔色がいいことや、足腰がしっかりしていて、いつもと感じが違うというのです。

うれしかったですね。これまでいろいろ健康食品を試してきましたが、こんなに周囲の人たちから「変わった」「元気そうになった」といわれたのは初めてでした。

その後、腰や膝はまったく痛くなくなり、何年ぶりかでスタスタ歩けるようになり、キヤットクロウにはリウマチの症状を改善する効果があることを自分の身体で実感したのです。

最初にリウマチと診断されてからすでに23年がたっています。当時からの患者仲間には次々亡くなり、現在、生きているのは私ともう一人だけです。私より若くして亡くなった方もいます。病院でリウマチの治療を受け始めて4カ月後に胃潰瘍になつて手術を受けた方もいました。

私は、なんの説明もなく副腎皮質ホルモンのステロイド治療を1年間も続けた医者に不信感を抱いて以来、病院の薬をほとんど使わず、健康食品で自分のからだを守ってきましたが、それは決して間違っていないかったと、いまさらながらに思っています。

お金で生命は買えないといいます。でも、お金で健康は買えるという気がします。確かに保険でもらえる病院の薬のほうが安いのは確かですが、副作用があるのが難点です。それに対して、天然の成分だけで作られている健康食品は、医薬品以上にからだを強くする力があること、副作用はまったくないことを私のからだ証明しています。

今でもキャッツクロウを飲み続けていて、痛みが再発する気配はありません。これまでいろいろな健康食品を使ってきた私としては、キャッツクロウは本当に効果があると自信をもって断言することができます。リウマチと付き合って23年。73歳になりました。痛みの消えた今、これまで、やりたくてもできなかったことや、行

きたくても行けなかった旅行へ行ったりして、まだまだ人生を楽しむつもりです。そして、リウマチで苦しんでいる一人でも多くの人に、キャッツクロウのことを教えてあげたいと思っています。

自殺まで考えたリウマチ地獄から、 なんと6カ月で解放されました

37歳・男性

突然、理由もなく左肩が激しく痛み出したのは3年前のことです。私がまだ34歳のときでした。近くの整形外科で痛み止めの注射をしてもらったところ2日ほど痛みは治まったのですが、数日後に今度は右肩が同じように痛み出し、続いて膝、足の指というように、からだのあちこちの関節へと痛みが広がっていききました。

大きな総合病院へ行ったところ、入院して精密検査をしたほうがよいとのこと。その結果、血液から高い数値のリウマチ因子が検出されたのです。検査を受けてい

る間にも痛みは日に日に強くなり、歩くことも、手足を動かすこともできなくなり、そのまま入院して治療を受けることになったのです。

6人部屋の4人までが重症のリウマチ患者で、からだの関節が大きく変形し、夜も昼も激しい痛みで苦しんでいる様子を見ると、自分の将来を見る思いがして、夜になるとベッドの中で涙が流れるのをこらえることができませんでした。

入院は3カ月半に及び、退院したときも、何かにつかまりながらようやく歩けるという状態です。でも、病院の医師の言葉は冷たく、「慢性関節リウマチは完治は望めません。あとは自宅で療養してください」と、まるで追い出されるように退院したという感じでした。

独身だった私は、母に面倒をみてもらうしかありません。80kg近い巨漢の私を、小柄な母が世話するのは並大抵のことではありません。しかも、それまで勤めていた会社からは、私の病気が完治の見込みがないことを理由にクビになりました。この先、母親が死んだら、一人でどうやって暮らしていったらいいのかと思うと生

きていく希望もなく、自殺の方法を真剣に考えたのも一度や二度ではありませんでした。

手首、足首、そして指の関節はパンパンに腫れ、針を刺したら水がピュツと飛び出すのではないかと思うほどです。朝、7時に起床しても、からだはラクになるのは10時か11時ごろ。両手で水をすくっても、その手を顔に持つていくことも、顔を手のところまで下ろすこともできません。つまり、一人で顔を洗うこともできないのです。

食事は、フォークを指に挟み、肘をテーブルに乗せて固定し、ようやくの思いで口にフォークに近づけて食べます。一日中、横になってテレビを見ながら過ごすことはありません。何しろ痛みで手がまったく使えず、ページを繰ることができないのですから、自分一人では本も読めないありさまです。まさにリウマチ地獄の毎日です。

よいといわれる健康食品も購入して、お金もずいぶん使いました。あるとき、病

院へ定期検査に行ったとき、売店で売られていた健康雑誌の、リウマチに効果の高い健康食品という見出しが目に入りました。早速買って帰り、広げたページに枕を乗せ、閉じないようにしながら読んでみました。それがキャッツクロウだったのです。キャッツクロウの名前は始めてでした。（どうせ、また、だめに決まっているが——）と思いながらも、キャッツクロウでリウマチの痛みから解放された人の喜びの声、幸せそうな顔を見ると、（ひよつとしたら自分も……）という期待を打ち消すことはできません。さつそく取り寄せたキャッツクロウを飲み始めて2週間ほどが過ぎた頃、自分のからだに何か変化が生じている予感がしてきました。こんなに早く、効果が出るものだろうかと半信半疑ながら飲み続けて1ヵ月後、朝のこわばりが軽くなり、手の指を曲げて、グーが握れるようになり、その後、ゆっくりながら自分の力で5本の指を広げてパーもできるようになったのです。

その驚きは、重症のリウマチを経験した方ならおわかりいただけるでしょう。当時、キャッツクロウ以外の健康食品を摂っていませんでしたから、その効果がキャ

ッツクロウによるものであることが確信できました。

（これだ！ これしかない！ このキャッツクロウに賭けてみよう！）

祈るような気持ちで、朝、昼、晩と『ゴールデンキャッツクロウ』を3粒ずつ飲み続けました。3ヵ月目が過ぎた97年5月頃から症状はメキメキよくなってきました。前の年は梅雨どきは激しい痛みに苦しめられたのに、その年の梅雨はなんなく乗り切り、8月頃にはほとんどリウマチの症状が消えたのです。

キャッツクロウを飲み始めて1年。あれほど苦しめられた痛みはまったくなくなりました。これを奇跡と呼ぶなくて、ほかにどんな言葉があるでしょうか。

血液検査ではまだリウマチ因子の数値が出ているにもかかわらず、関節の腫れも痛みもきれいに消失しています。医師も、私のように悪性のリウマチが改善するのはとても珍しいケースだと驚いています。

新しい仕事を見つけました。そして、7年前からつき合っていた女性と結婚することでもできました。自立して生活していける自信がついたので、プロポーズした

激しい痛みが出て、手首の関節が腫れ上がってきたのです。そのうち、手首が曲がり始め、ひどい痛みで悩まされ、私のところに電話をかけてきたときも、「こうして受話器を持っているのもつらいのよ」とこぼしていました。そんな言葉を聞くと、なぐさめてあげたい気持ちと、早く電話を切ったほうがいいのではという気持ちとが交錯して、話していても落ち着きません。

そんなとき、健康雑誌でリウマチの特効薬としてキャッツクロウの記事を見つけました。免疫力が強化されて、炎症を抑え、痛みを根本的に解消する作用があるとのことでした。すぐに販売会社に関係を問い合わせをして取り寄せ、「とにかく飲んでみて」と、高知の義姉に送りました。義姉は、私にいわれるままに飲んでくれたようです。私もときどき電話をしては、様子を聞いてみましたが、2カ月たった頃、義姉は「手首の腫れがひいてきて、ほとんど痛くなくなっただけ」といい始め、やがて、「もう病院でもらう痛み止めの薬を飲まなくても平気なくらい」と明るい声で報告してくれるようになったのです。

のです。彼女は看護婦で、リウマチ患者のつらさをよく知っているので、これから私の大きな支えになってくれるに違いありません。

そして今ではゴルフも野球も、なんでも普通の人と同じようにできます。営業の仕事で、ときには重い荷物の運搬もすることがあるのですが、ほかの人と少しもヒケをとらずに仕事をするのができる喜びを心の底から感じています。ゴールデンキャッツクロウにはどんなに感謝しても、しすぎることはないと思っています。

リウマチの症状が出て、 すぐにキャッツクロウを飲み始めたのは正解でした

42歳・女性

私の夫の姉は高知市の酒屋に嫁ぎました。酒屋の仕事は、ビール瓶や日本酒のケースを持つことが多く、なかなか重労働です。義姉は40代の半ばに子宮筋腫の切除手術を受け、その直後から手首に違和感を感じ始めたということですが、そのうち

それから1カ月ほど過ぎた頃、東京の身内に不幸があり、義姉も葬儀に出るために上京してきました。確かに手首は内側に曲がったままで、まっすぐ伸ばすことができないのですが、指は腫れもなく、自由に動くのです。痛みの激しいときは指を曲げることができなかったのに今では普通に使えるのよと、義姉はともうれしうでした。

リウマチになると、足の関節もやられてしまう人が多いと聞きますが、姉は手以外の部分には症状が出ていません。おそらく、手首や指に症状が出たあと、すぐにキャットクロウを飲み始めたからではないでしょうか。そのために、症状が広がらなかったのかもしれませんが。曲がった手首を除いては、健康なときの体調に戻ったとのことでした。

つい先日の電話では、病院での検査でもリウマチ因子がなくなったとのこと。つまり義姉のリウマチは完治したということなのです。リウマチという病気はいったんかかると完治するのはとても難しいと聞いているので、本当にキャットクロウの効果だったとすれば、すごいことだと思います。

キャットクロウは、その人自身の免疫機能を向上させるということですから、リウマチ以外に病気にも効果があるに違いありません。

私の夫は気管支が弱く、ちよつとしたことですぐに風邪をひいて、仕事にも支障が出て、困っていました。そこで、夫にもキャットクロウを勧めてみたのです。夫も自分の姉の例を見てキャットクロウの効果を知っていたので、毎日飲むようになったところ、それ以来、一度も風邪をひいていないのです。キャットクロウは健康維持にすばらしい効果があることがわかり、これからも夫婦で飲み続けていくつもりです。

最初に症状が現れたのは平成6年3月のことでした。しばらく前から、足の指に何となく違和感を感じていたのですが、ある朝、くつ下をはこうとして、右足の指が腫れていることに気がついたのです。

痛みが出てきたのはその直後でした。赤く腫れた足の指がズキズキと痛み出したと思ったら、足全体が腫れてきたのです。最初は、気がつかないうちに捻挫をして、ひどくなったのかと思います、市販の湿布薬などを貼って、様子をみていました。

ところが痛みと腫れはいつこうに引かず、今度は膝まで痛くなってきました。とうとう歩くのも不自由になり、あわてて整形外科へ行ったところ、血液検査の結果、慢性関節リウマチと診断されました。

すぐに抗リウマチ剤と非ステロイド抗炎症剤の併用による治療が始まりましたが、

膝の痛みは激しく、水がたまってパンパンに腫れてしまいました。たびたび水を抜いても、すぐにまたたまってしまいます。

病院でもらう薬が効いている様子はまったくなく、痛みは増すばかりです。夜もキリキリと、文字どおり膝に錐を差し込まれるような激痛で飛び起きることが度重なるようになりました。ようやくの思いで仕事に出かけても、少し段差のあるところで足がひっかかると、痛みで思わず声が出そうになるほどです。

膝はカッカと熱をもっているように痛いのに、全身はゾクゾクとした寒気に襲われ、新緑の5月になったというのに、冬の厚い下着を脱ぐことができず、家ではストーブにしがみついているという有り様です。

とうとう足の痛みのために、家から一步も出ることができなくなった頃に、50歳の誕生日がやってきました。働き盛りの年齢のはずなのに、仕事にも行けない我が身が情けなく、悔し涙があふれてくるのを抑えようありませんでした。

そんなときでした。月刊の健康雑誌の『キャッツクロウ』の記事が目にとまりま

した。それまでも「リウマチ」という言葉がついた記事は片っ端から読み、良いといわれることは何でも試してみました。それでも病院の薬もダメ、民間療法もダメ、健康食品もダメ。リウマチはまさに不治の病なのか、いつそのこと死んだほうが家族のためになるのでは——と自暴自棄の心境でしたが、それでも、このつらい痛みが少しでもラクになるならと、さっそくキャットクローを取り寄せたのです。

毎日、朝、昼、晩と飲み続けて2週間ほどたった頃のことです。わずかずつながら、痛みがラクになってきたのを感じたのです。炎症を起こして赤く腫れている手足の関節部分も、いくぶん腫れがひいてるように見えます。

(ひよっとして、これは効くかもしれない！)

真っ暗闇の中に一条の光を見出すという言葉は、きっとこのような気持ちを表現しているのに違いありません。まさに、キャットクローは私に一条の光として感じました。(キャットクローを信じて、とことんまで頑張ってみよう！)

泣き言も、弱音も吐いていられません。私には妻と2人の子どもがいるのです。

リウマチに負けるわけにはいかないのです。きっと治る、治ってみせると決心した日から、私のリウマチへの挑戦が始まりました。

痛みが和らぐのに合わせて、少しずつ身体を動かし、筋肉を強化する運動を開始しました。それまでは、痛みが出ないようにできるだけ身体を動かさないようにしていたことを考えると、自分でも驚くほどの変化です。家族もそんな私を一生懸命応援してくれました。

2 培濃縮の『コールドンキャットクロー』を摂るようにしました。長い間の痛みですっかり食欲も低下し、体力も落ちていたので、キャットクローの吸収をより高める基礎健康食品も一緒に摂るように勧められました。そこで、腸内吸収を改善する乳酸菌生産物質『ビオノール』と血流を良くするSOD様エキス『ビオターゼ』も合わせて摂るようにすると、症状が急速に改善されていくのがはつきりと実感することができました。体力が回復してくると同時に、気力もどんどん充実してくるのがわかります。

キャツクロウを飲み始めて、もうすぐ1年になりますが、今では、日常生活に不自由を感じることがないまでに身体を動かせるようになり、靴を履いて歩いても足や膝に痛みを感じることがほとんどなくなってきました。そろそろ、新しい仕事を探して、再び社会に出ていく自信も出てきました。

まだ50歳です。新しい仕事を見つけて、必死で頑張れば、人生のやり直しもできるに違いありません。ここまで支えてくれた家族のためにも、もうひとがんばりしなくてはと、気持ちを奮い立たせながら、毎朝、新聞の求人欄を見るのが日課になっています。

副作用がまったくないキャツクロウなら 安心して長い間摂り続けられます

52歳・女性

私の母も長年、リウマチで苦しんで、60歳で亡くなりました。そのため、私が45

歳のときに足の指が腫れてきたときはショックでした。すぐに病院へ行って血液検査を受け、リウマチ因子が出ていると診断されたときは、ああ、やつぱりという思いとともに、私も母のようにリウマチで苦しまなければならないのかと暗澹とした気持ちになりました。さっそく病院で処方された薬を服用し始めましたが、しだいからだのあちこちの関節が痛み始めました。

悪化のスピードは思っていた以上に速く、病院で処方される薬を飲んでいても、症状は一進二退という感じで、じりじりと確実に悪くなっているのが自分でもわかるのです。この時期は精神的にも本当につらかったですね。母がリウマチの痛みで、夜も眠れずに苦しんでいた姿を知っているために、やがて自分も同じ苦しみを味わうのかと思うと、身体の痛み以上に精神的な痛みのほうが強かったほどでした。

4年ほどたったとき、糖尿病まで出てきました。糖尿病も、自己免疫異常が原因とのこと。リウマチも糖尿病も、免疫調整力が弱い体質が根本にあるのでしょうか。

そんな折、知人がキャツクロウのことを教えてくれました。からだの免疫力を

高めるだけでなく、炎症を抑える作用や痛みを抑える作用もある健康食品だということです。免疫力増強作用をうたった健康食品はたくさんありますが、炎症や痛みにも効果があるという健康食品は初めてでした。

さっそく、キャッツクロウを発売している研究所に問い合わせると、とくに慢性関節リウマチに効果が高いとのこと。私はおそろおそろ聞いてみました。

「副作用はありませんか？」

電話の向こうの声は別に気を悪くした様子もなく、これまで多くの方に使っていただいているが、副作用が出たという苦情は1回もないとのこと。自然のハーブから精製した天然成分なので、からだに穏やかに、無理なく働きかけるとのことです。しかも個人によって差はあるものの、かなり即効性も期待できるとのことです。じつは当時、私は病院の薬の副作用と思われる胃の痛みや脱毛に悩まされていたからです。症状が激しくなるにつれて、ステロイド剤も処方されていたために、顔が丸くなるムーンフェイスにもなっていました。ステロイド剤はできれば飲みた

くないと思いますが、飲めば痛みがラクになるために、処方されるままに飲んでいたので。

私は再び聞きました。

「じつは糖尿病もあるのですが、大丈夫でしょうか？」

糖尿病があると、どうしても成分の吸収率が下がるとのことです。そこで、腸内の状態をよくして、健康食品の有効成分の吸収率を高め、全身の血流をよくする作用をもつ基礎健康食品を組み合わせてはどうでしょうかと、ていねいに、わかりやすくアドバイスしてくれました。

キャッツクロウを摂り始めてから2カ月目。明らかに痛みが軽くなってきました。病院での検査でも、リウマチ因子などの検査数値が改善されてきたのです。医師もステロイド剤はもう必要ないと判断したのでしょう。非ステロイド抗炎症剤に切り替わりました。そのおかげで、パンパンに張っていた頬もすっきりしてきて、抜け毛も止まり、今さらながらにステロイド剤の副作用を実感したほどです。

キャッツクロウを飲んで半年になります。曲がってしまった関節は元通りにはなりませんが、腫れもなくなり、ほとんど痛みもない状態が続いています。からだも疲れにくくなり、周囲の人からびつくりするくらい元気になったといわれるようになりました。そのうえ血糖値も徐々に下がってきたのにも驚いています。免疫機能が正常になると、からだは本当に健康になっていくのですね。

遺伝的に免疫機能が弱く、リウマチ体質の私です。症状が出なくなっても、キャッツクロウをずっと摂り続けていきたいと思っています。健康食品ですから、長い間摂っても副作用がまったくないので安心です。

基礎健康食品+キャッツクロウで 驚くほど早く効果が現れました

39歳・女性

主人の転勤、子どもの受験とストレスが続いたために、体調を崩して寝込んでし

まいりました。血圧が高く、腎機能も低下しているとのことで2週間の入院。その後、家で療養ということで帰宅したのですが、突然のように左手首に激痛が走りました。あわてて病院で痛み止めの注射をもらい、痛みが消えてほっとしたのもつかのま、今度は右手首が同じように激しい痛みに襲われました。その痛みは肘や足へと次々と移っていき、精密検査の結果、リウマチだと診断されてしまいました。痛みはすでに全身の関節に広がり、抗リウマチ薬と非ステロイド抗炎症薬による治療を受けることになりました。

朝、目ざめると、からだの関節という関節がこわばった状態で、20分ほどフツンの中でウォーミングアップしないと動き出すことができません。約1年ほど、この状態が続きましたが、とうとう自分の足で歩けなくなり、入院せざるをえなくなりました。

3カ月の入院期間中、できる限りのリウマチ治療を受けましたが、これ以上よくなることは見込めないのです。あとは気長に自宅療養するしかないといわれたときは、

悲しくて情けなくて、夫や子どもたちが出ていった家の中で泣き暮らす毎日でした。主人はそんな私に優しく接してくれて、周囲の人や本などから情報を集めてきてはなぐさめてくれます。書店で『キャットクロウ』の本を探してきたのも主人でした。効くかどうかはやってみなければわからない、とにかく試してみようと、書籍の巻末に出ていた問い合わせ先に連絡をして、私の症状を詳しく説明し、相談してくれました。

キャットクロウの効果を最大限に活かすための基礎健康食品を組み合わせた「ワシ・ツリー・スリー免疫療法」を知った主人は、基礎健康食品（『ビオノール』と『ビターゼ』）、『ゴールデンキャットクロウ』の3種類を取り寄せてくれました。

そのときの私にできることは、主人の優しい心に応えて、これらの健康食品を1日3回、忘れずに摂り続けることだけでした。

効果は予想以上に早く現れました。3週間目になると、からだの痛みが遠のき始めたのです。ビリビリ、ズキズキと、からだじゅうの関節にくい込むような痛みが、

薄れてきたのです。がまんできない痛みから、がまんできる痛みに変わってきたと云ったらいいでしょうか。

やがて、ベッドから下りて家の中を歩き回れるようになりました。主人も子どもたちも本当に喜んでくれました。それからの回復のスピードは驚くばかりで、キャットクロウを飲み始めて半年後には、外出もできるようになったのです。その後、ますます体調がよくなり、今では家族の食事を用意するためにスーパーへ買い物に行くこともできます。

健康であることのありがたさ、そして家族のありがたさを知ることができた今、これからもキャットクロウを飲み続けて、二度とあの痛み、不自由さを味わわずにすみたいと心から願っています。

正座ができなかった変形性膝関節症の痛みが消えて、 生き返った気分です

63歳・女性

変形性膝関節症の症状が出たのは平成5年の秋でした。最初は右の膝が痛くなり、水がたまって大きく腫れ上がってきました。右足の痛みをかばっているうちに、左足に負担がかかったのでしょうか。そのうちに、左足まで痛くなり、正座はまったくできない状態です。健康なときは意識していませんでしたが、正座ができないことがこんなに大変なことだとは思いませんでした。自分の家にいるときなら、どんな恰好でもできますが、他人の家へ行ったときは本当に困りました。自然と出不精になっていきます。

毎日のように整形外科へ行って、電気治療を受けたりしましたが、痛みは増すばかりです。平成11年2月の寒い日のこと、病院の待合室でいつも一緒になる顔見知りの人がずいぶん調子が良さそうなので、思わず声をかけてみると、キャツクロ

ウという健康食品を飲み始めてから、急に膝の痛みがラクになったというのです。

その人は、いわば健康食品オタクのようで、いつもいろいろな健康食品を試している話は聞いていたのですが、これまで試した中で、このキャツクロウがいちばん効果があるようだということです。関節が変形してくる膝の痛みが、健康食品を飲んだくらいで取れるはずがないと私は信じようとしなかったのですが、その人は、だまされたと思って一度試してごらんということです。まあ、本当に痛みが取れるのならこんなにいいことはない、私も注文してみることにしました。

半信半疑ながら飲み始めて2週間。なんとなくからだがラクになったように感じ始めました。

（こんなに早く効き始めるのだろうか——。気のせいだろうか——）

と思いつつもセッセと飲んでいたところ、なんと1カ月たったところで、あれほどパンパンに腫れ上がっていた膝の腫れがひき、痛みもほとんど感じなくなったのです。こんなに即効性があるなんて信じられないくらいでした。

先日、自分でも無意識のうちに正座をしているのに気がつきました。痛みのひどいときは、もう二度と正座はできないのではないかと思っていたほどなのに、痛みもなく、ずっと正座していたのです。

友人たちにも、まるで別人のように元気になったといわれました。先日、久しぶりで温泉にも行ってきました。膝が痛み出してから、バスの乗り降りや、駅の階段が苦痛になり、大好きな旅行に行く気もなくなっていたのです。

まだ完治とはいえませんが、毎日の生活にもまったく不自由がなくなり、本当にすばらしい健康食品に出会ったと、教えてくれた友人に心から感謝しています。

つらい偏頭痛がキャッツクローを飲み始めてから 一度も出なくなりました

56歳・女性

若いときから、ときどき偏頭痛に悩まされていたのですが、50代になってからま

すますひどくなってきました。とくに、からだが疲れているときは、必ずのように強烈な頭痛に教われます。左右のこめかみから額にかけて、目をあけていられないような痛みが突然のように起こります。

ちよつと動いただけでズキン、ズキンと強く痛み、そうなるたびとじつとしたまま耐えるしかありません。

あるとき、近所の健康相談室で、「偏頭痛の痛み有效果のある健康食品があるのだけど試してみてはどうですか」とすすめられたのがゴールデンキャッツクローでした。

キャッツクローには、血行をよくする作用があり、鎮痛効果がとくに優れている健康食品ということです。私はそれまで、ビタミン剤以外は飲んだことがなかったのですが、健康相談室の先生のことを以前から信頼していたので、キャッツクローを飲んでみることにしました。

私はもともと免疫機能が弱いとみえて、風邪をひきやすく、感染症にもかかりや

すい体質でした。そんな私に、免疫力を高める作用もあるキャッツクロウはぴったりだったようです。朝、昼、夜と2粒ずつ飲んでいっているうちに、体調がとてもよくなってきたのです。なんだか、からだの中に力がわいてくるような感じがして、元気が出てくるのが自分でもよくわかりました。

ゴールデンキャッツクロウを飲み始めてから本当に偏頭痛が起こらなくなりました。不思議なほどです。健康食品で頭痛が解消できるなんて……と本心では半信半疑だった私ですが、こんなに効果があるなら、もっと早くから試していればよかったと思うほどです。これからは、新しいことに対して臆病にならないで、からだによいといわれることにもっと積極的に挑戦していきたいと考えています。